

1 身を切る改革・徹底行革、国会改革

地方で出来ることは地方自治体に権限を移し、民間で出来ることは民間に任せる。
国は外交・安全保障など、やるべきことに絞り、小さく効果的・効率的な政府をめざします。
徹底的に行政改革を行うためにも、まずは議員自身が身を切り、政治家の覚悟を示します。
今、国民の皆さまが国会に求めていることは、政党間の日程闘争ではなく、自由で安全で安心できる、よりよい暮らしのために政治家が国会で議論を深め、実行に移すことです。
時代にあった国会改革をめざします。

2 規制改革・成長戦略・経済政策

米中貿易摩擦や英国のEU離脱など、世界経済にかけりが見える中で今必要なのは、GDPの6割を占める民間消費を上向かせる経済政策です。
規制緩和を行い成長戦略を描いて経済成長し、財政再建を行います。既得権を守るための業界団体に支援された政党は、その人たちに支えられているため思い切った改革はできませんし、グローバル時代に必要となる成長戦略も描けません。
グローバル化する知識経済に適應できる産業構造への転換を進めます。
観光インフラを拡充し、シェアリングエコノミーを推進、新しい交通インフラに支えられたスマートシティを実現します。

3 教育・子ども支援、女性がくらしやすい社会へ

経済格差が教育格差とならないよう、教育機会平等社会を実現し、教育の完全無償化を推進します。
義務教育のほか、幼児教育、高校、大学などの教育について無償化を行います。
経済面では子育て世帯の可処分所得が増えるため、持ち家の購入など、他のことにお金をまわすことができます。
子育てバウチャーを導入し、教育予算の対GDP比を他の先進国並みに引き上げます。
また正規、非正規を問わない同一労働同一賃金の実現により、特に女性の待遇改善を図り、くらしやすい社会の実現に努めます。

4 働き方・社会保障制度改革

持続可能な社会保障制度改革を提案します。
年金については、少子化の進行で、現役世代が高齢世代にいわば「仕送り」をする賦課(ふか)方式には限界があります。負担と受益に不公平が生じないように、年金制度は賦課方式から積立方式へ長期的に移行します。
社会的基盤の整備によるワークライフバランスの推進や同一労働同一賃金の実現に努めます。
また、高齢者向け運転免許制度の創設を行うことでより安心できる社会をつくりたい。

5 震災復興、エネルギー政策

2011年3月11日に起きた東日本大震災を忘れてはいけません。ソフト重視の復興支援を推進していきます。
また、これまで党所属国会議員の歳費から月約18万円を党でプールし、各地の被災地などに寄付してきました。
今後想定される大規模地震やゲリラ豪雨等の自然災害に対応できるように、しっかりと体制づくりを行っていきます。
エネルギー政策については、脱原発依存体制の構築や脱炭素社会の推進をめざし、先進国をリードし、世界規模で進めることを提案します。

6 憲法改正

現在の日本国憲法は施行から72年が経ち、時代にそぐわない部分も生じてきています。
憲法は国民的課題として常に議論され、必要であれば国会が議決し、国民投票をもって改正するべきと考えています。
改正案として「教育無償化」「統治機構改革」「憲法裁判所設置」の3項目を国民の皆さまに提案します。
いずれも日本の未来構築のために必要な改正であると考えていますので、国民の皆さまには、批判も含めて、ぜひ議論していただきたいと思っております。

7 統治機構改革

自立分散型、持続可能な統治の仕組みを作っていきます。
地域の実情にあった統治の仕組みを作り、地域自治の流れを全国に行き渡らせることで、新たな国の形を作っていきます。

8 外交・安全保障

与えられた状況の中で国民の生命と財産を守るためにもっとも効果的・効率的な手段が何かを検討し、現実的な外交と安全保障政策を展開していきます。
民主主義、自由、法の支配といった普遍的な価値観の下での自由貿易圏の拡大による経済安定保障を促進します。
宇宙領域、電磁波領域、サイバー領域といった新しい領域での防衛体制を強化していきます。

藤巻けんたの維新八策

藤巻けんたプロフィール

昭和58年10月7日
英国ロンドンにて生を受ける



銀行員だった父の転勤先のロンドンで生まれました。
2歳の時帰国したため、記憶はほとんどありません。

平成2年4月～平成8年3月
大岡山小学校



サッカーに夢だった小学生時代、この頃のチームメイトは今では飲み仲間です！

平成8年4月～平成14年3月
聖光学院中学校・高等学校



校則の厳しい学校で当時はその厳しさに悩んでいましたが、そのおかげで自分の中で一本の筋を通すことができました。勉強もスポーツも恋も全力でした！

平成15年4月～平成20年3月
慶應義塾大学 経済学部



旅とテニスに明け暮れた日々。机の上では学ぶことのできない、多くを学びました。
写真は中国の奥地・新疆ウイグル自治区を馬で旅した時のものです！

平成20年4月～平成22年6月
みずほ銀行 銀座中央支店



窓口業務や住宅ローン、海外送金の一般事務に始まり、企業融資・経営コンサルなど様々な業務に携わりました。飛び込み営業もしており、銀座の街を駆けずり回る毎日でした。社会人としての礎を築くことのできた、大切な時期だったと考えています。

平成23年4月～平成24年8月
みずほコーポレート銀行 本店国際為替部



デリバティブで海外の金融機関と取引をする部署です。
トレーダーとして為替先物・JGB先物・金利スワップ・通貨スワップ・スワプション等を用いて、寝る間も惜しみながら海外の銀行や証券会社と厳しい取引を行っていました。

平成25年7月～平成26年11月
参議院議員 公設第一秘書



参議院議員の公設第一秘書として、国会で政策立案や対外交渉を担当していました。「自分にもできることがある、やるべきことがある。」政治家を志したのもこの時期です。

平成28年2月～現在

千葉維新の会 幹事長

現在千葉維新の会(日本維新の会 千葉県総支部)の幹事長として活動中です。
維新の改革を千葉で、そして全国で！
その想いを胸に、日々頑張っています！

詳しくは公式サイトをご覧ください！ [藤巻けんた](#) [検索](#)

① 金融・経済のプロとして！

より良い経済政策を創るためには、一人でも多くの金融・経済に精通した議員が深い議論をする必要があります。
私は金融の最前線で働いていました。
その知識・経験を活かし、強い日本経済を実現します！

② 地域の声を国会に！

「資金繰りが厳しいので融資してほしい」「景気は一向によくならない」「給料がなかなか上がらない」私は銀行マン時代、そういった地域の生の声をずっと耳にしていました。
自らの経験を活かし、必ず地域の人の声を国会に届けます！

③ 教育の完全無償化を！

教育の機会は平等でなければなりません。
経済的な理由から進学を断念せざるを得なかった。
このような事態は絶対に避けるべきです。
保育園・幼稚園から大学まで、教育の完全無償化を実現します！

④ 議員歳費の3割削減へ、身を切る改革を！

国会議員の年収は、第二の給与と呼ばれる文通費を加えると約3,400万円です。議員だけがぬるま湯に浸かるのは許されません。
維新の所属国会議員は、議員歳費の中から毎月18万円を東日本大震災などの被災地に寄付していました。
議員歳費の3割削減、国会議員の身を切る改革を断行します！

⑤ 若い世代の代表として！

令和元年5月現在、40歳未満の国会議員は約5%しかいません。
一方、総人口では40歳未満の人は約40%です。
これでは若い世代の声はほとんど反映されません。
若い世代の代表として、その声を必ず国会に届けます！

⑥ しがらみのない政治を！

私は特定の組織や団体・宗教の支援を、一切受けていません。その分選挙では不利になってしまうかもしれませんが、しがらみだからこそ、特定の組織や団体・宗教に利益を誘導するような政治をしなくて済みます。しがらみのない、本当に日本の為になる政策提言を行います！

⑦ 維新の改革を全国で！

維新は大阪で大阪都構想を初め、財政・教育・行政・公務員制度・議会等あらゆる分野で改革を行ってきました。結果として維新は大阪では、自民党を圧倒的に超える支持を得ています。
維新の改革が必ず、日本の為になると確信しています。

⑧ 既得権益と闘う成長戦略を！

私達維新はこれまで多くの既得権益と闘ってきました。
その闘いを、歩みを止めるつもりはありません。
既得権益と闘う成長戦略を実現します！